



ナデシコ（撫子） 三村 千秋

－ 自分らしく働く 2 －

前回のナデシコでは、廿日市や広島市基町にできた「就労継続支援B型」事業所のカフェで、自分の個性を活かして働く姿を紹介しました。学校教育後の就労や社会参加はとても大切です。保護者も関心が高いと思います。今回は、前回のナデシコの内容を詳しく説明いたします。

障がいのある方の就労には、企業などで雇用関係に基づいて働く一般就労や、企業の障がい者枠での就労（障がい者手帳が必要）の他に、国としてのサポートがある福祉的な就労があります。福祉的な就労には、会社と勤務日数や時間等の契約を結んで働く「就労継続支援A型」と、「就労継続支援B型」があります。「就労継続支援B型」は、障がいの状況や体調面の理由により企業等と雇用契約を結んで働くことが困難な方が、軽作業や訓練を受けられる事業所です。短時間で日数も選ぶことができ、工賃が支払われ、働きながらステップアップしていく場所です。

「働くことはちょっと不安だ」「もう少しコミュニケーションやパソコンなどのスキルを身に付けたい」という方には、公的機関の相談窓口として、地域障害支援センター、各区にある障害者就業・生活支援センター、ハローワークの専門相談などがあります。また、就労のための準備・訓練機関として職業能力開発校があるほか、「就労継続支援A型」「就労継続支援B型」もその訓練の場に当たります。さらに近年では、民間の就労移行支援事業所も数多くできて、自分らしく働くことをバックアップできるシステムが充実してきました。

相談機関等が充実してきましたが、うまく利用するために子育てで土台となる基本的な部分を育てることを意識してみてください。すなわち、健康管理、レジリエンス、相談する力です。そう簡単にはいかないのが子育てですが、少しでも意識すればお子さまへの関わり方は変わってきます。

個別面談

皆様がご心配されている子育て相談や就学相談など、クォーレでは対応が難しかった部分を三村先生にお願いし、個別相談をしていただくことになりました。

三村先生は、数々の実績とご経験をお持ちの方で、今もなお、広島大学客員教授などご多忙な毎日を送られている中、クォーレの療育に賛同して下さり、ご協力していただける運びとなりました。

Zoomでのオンライン面談も可能です。

<https://airrsv.net/qole-hogosyamendanyoyaku/calendar>

↑こちらから予約が可能です。

詳細は教室にお尋ねください。



お知らせ

Instagram・Facebookの更新が始まりました！

是非ご覧ください！！

クォーレのことをさらに詳しく、
ブログ随時更新中！

クォーレ ブログ

検索

